

日本ユニシス株式会社

2010年3月期第2四半期決算説明会（2009年11月5日開催）

主な質疑応答

ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。

【2010年3月期業績見通し及び受注動向について】

Q：営業利益計画160億円の達成に向けて、コストの削減余地はどの程度あるのか？

A：例えば、下期に見込んでいる不採算7億円をできる限り抑制したり、内部リソースの活用をさらに進めることで外部委託を抑制するほか、生産性を上げることで残業を減らす、紙代、電気代を削減するなど、あらゆる分野においてコスト削減を進めている。業績計画には織り込んでいないが、販管費の一般経費関係だけでも、さらに2~3億円の削減余地があると見ている。

Q：上期の受注高が前年同期比17%減少しているにもかかわらず、下期の売上高が6%強増えるという会社計画になっているが、厳しい営業環境を見るとやや楽観的という気がする。どの分野で売上を確保していくのか？

A：上期の受注高はアウトソーシングが増加した一方で、システムサービス、ネットマークスサービス、ソフトウェア及びハードウェアが減少し、大幅減少となった。その結果、売上高も減少した。アウトソーシングが堅調に推移したことを考慮すると、その他の部分が下期の後半に回復することによって、受注高並びに売上高の回復は期待できる。また、上期に低調であったネットマークスサービスも引き合いが増えてきているので、下期は期待できると考えている。

Q：下期の受注高は減少幅が縮小するのか、あるいは増加に転換する見込みなのか、10-12月期、1-3月期それぞれイメージを教えてください。

A：下期の受注高は、現時点では前年同期比6%程度の増加になる見通しである。上期は前年に引き続きアクティビティが相当落ちていたが、足元で引き合い件数も徐々に増加の傾向となっているので、今後は受注が活発化し1-3月期には増加に転じてくるものと見込んでいる。

【各事業の動向について】

Q：SaaS、PaaS等の新ICTサービス事業は、今期及び2011年3月期にどれくらいの売上高になる計画か？

A：2010年3月期、ICT関連の新サービス事業の売上高は26億円程度の見通しである。それが2011年3月期には87億円、2012年3月期には125億円へと増加していく計画である。

Q：11月2日に大手食品スーパーの新基幹システムを構築完了というニュースリリースが出ていたが、他にも同様な商談はあるのか？

A：他にも決まりそうな商談がいくつかある。この分野については、随分前からビジネスをやっているノウハウを蓄積しており、全国の食品スーパーマーケットや生協に対してセールスをしている。当社の実績を評価してくださる顧客はかなりあり、今後はさらに営業活動を加速していきたい。

Q：S-BITS事業の上期損益はどのように着地したのか？また、通期の見直しはどうか？

A：上期の損益はマイナスであったが、昨年度が大きなマイナスだったので、6億円程度改善している。通期での損益は売上総利益ベースでゼロもしくは若干のプラスを見込んでいる。

以上

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。